新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙一部五錢 一ケ月壹圓
定價(郵稅一ケ月拾五錢)
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二三五 營業局專用三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

わが快速猛牛部隊
果敢南昌に突入
敵軍算を亂し南方に退却

【〇〇廿六日發國通】廿六日午後五時卅分わが軍は敵十字砲火の中を敢然中正橋上流より江の敵前渡河に成功し南昌の一角に突入した

【〇〇廿六日發國通】驚異的進擊を續けた我が南昌攻略部隊の精鋭は既に廿五日拂曉奉新より南昌に通ずる軍工路上に進出し、快速部隊の先頭は砂塵を擧げて驀進また驀進、同夜深更南昌南方十五キロの地點にある生米街に突入し、また石井、楠瀨の各戰車隊は去る廿一日午前八時三十分修水河を渡河し、敵陣地に躍り込んで猛牛の如く敵後方陣地を攪亂し、同午後三時頃全車輛の渡河完了を見るや爾後晝夜乘行百キロを突破し、戰史に稀有と云はれてゐる空中よりの燃料補給を受けつゝ廿六日午前九時步兵及び工兵部隊の密接なる協力の下に南昌對岸に突入した

【〇〇廿六日發國通】我が陸軍飛行機は南昌攻略第一線地上部隊に協力して廿五日延機數八十二機をもつて敵陣を痛擊したほか、浙贛線を運行中の列車及び軍事施設を爆擊し多大の損害を與へたが、廿七日陸軍機の偵察によれば、南昌附近の敵は浙贛線に沿ひ算を亂して續々南方に退却を開始してゐる

先鋒部隊上流渡河
直ちに敵の退路を遮斷

【〇〇廿六日發國通】わが丹禮、酒井、町田各部隊の先鋒は廿六日午後五時頃南昌南方約廿キロの地點において、民船を利用し贛江の第一バンド渡河に成功し、直ちに猛進して南昌よりの敵の退路を遮斷した

わが猛進阻止に橋梁を破壞

【〇〇廿六日發國通】廿六日朝南昌東站を突破したる我が軍は、戰車を先頭に步兵、騎兵各部隊は贛江路中正橋畔につめかけて南昌を一氣に呑まんとしてゐる、敵は贛江に架けられた長さ千五十米の中正橋を中央二橋節に亘つて爆壞しわが軍の進擊を阻止せんとしてゐるが、浮足立つた敵は早くも南昌地區の防衛を斷念したもの丶如く城內は右往左往する敵兵で大混亂を呈してゐる

武漢地區討匪行

【漢口廿六日發國通】わが武漢地區警備隊の昨年十二月中旬以降三月上旬に至る殘匪討伐戰々果は左の如し
交戰兵力約十萬、敵遺棄死體八、六七七、捕虜四五二、鹵獲兵器　迫擊砲二、輕機四、チエコ機銃三三、その他彈藥數十萬發

贛北地區を猛爆

【〇〇基地廿六日發國通】瑞江上流河谷に集結する敵大部隊は我猛擊に堪へかね續々浙贛沿線地區を西に退却中で、わが〇〇機は之に猛爆を加へ廿五日も終日低くたれこめる密雲を衝いて出動、贛北地區一帶に巨彈の雨を降らせ多大の戰果を收めた
即ち下田、森、浦中、石原各部隊は大編隊を以て浙贛線の要衝臨江及び南昌、南山地區を襲ひ、激烈なる對空砲火を冒して敵中深く進入し南昌南方では午後三時半頃燃料を滿載した數十輛の貨車を發見、これを完全に粉碎、黑煙天に冲し壯絕な光景を呈した、又臨江西南方では折から大部隊を乘せて西方に退却中の五ケ列車を次々に爆擊、これを粉碎し全機悠々歸還、この爆擊によつて臨江附近の大部隊は殆んど潰滅されてしまつた、一方武寧方面に向つた川島、杉村、衣川各部隊は峻嶮によつて頑强に抵抗する敵大部隊に對ししらみつぶしの爆擊を加へ多大の損害を與へて全機無事歸還した

慈姑を猛攻

【〇〇廿五日發國通】修水渡河後猛然たる勢で南進中のわが中山、尾家、川上等各部隊は廿五日頑敵を擊破しつゝ岐山區東南附近で馮水第二支流を鹵獲材料を利用して見事渡河東進して廿五日拂曉南潯鐵道雷子嶺を占領し更に南進を續け隨所に敵を屠り午後二時には慈姑(永修南方四里)を猛攻中である、雷子嶺及び慈姑方面の敵は第九十八師に屬するもので雷子嶺以北の敵主力は廿四日既に退却したものゝ如くである

黃河渡河の敵集團爆擊

【〇〇基地廿五日發國通】猛陸平陸茅津渡爆擊

平陸茅津渡爆擊

【〇〇基地廿五日發國通】山西南端地區に連日猛爆を續ける陸の荒鷲中村機は廿五日午後一時卅分平陸を、また內藤機はその東方茅津渡を爆擊、甚大なる損害を與へ全機無事歸還した

演習中の敵軍を擊破

【太原廿五日發國通】臨汾西方黃龍岡警備の結城部隊の一部は廿三日午前十時頃同市南方三キロの芦子里附近で小癪にも悠々演習中の輕機を有す…

惡戰苦鬪五日間!
陳庄の敵を殆ど潰滅

【陳庄廿六日發國通】廿日以來陳庄附近における未曾有の激戰は廿五日夕刻白濱、江島兩部隊の松山、海鼠山、萬壽山の三山占領により漸く終りを告げ我軍は息吐くまもなく武寧目指して進擊を開始した陳庄前面の敵を擊碎した我軍は南京戰、漢口戰に勇名轟く部隊で、また頑强を極めた敵はこれも支那軍一の精銳と謳はれた三師、七十七師の兩中央軍と十五師、百四十二師の兩傍系四ケ師で彼我双方の血鬪は去る廿日以來五日間に亘り皇軍の占領した敵陣の山野は文字通り屍山血河の物凄い相貌を呈し天然の地形を利して縱橫に掘られた山頂の塹壕山腹の鐵條網等はわが荒鷲の猛爆擊、藤村、富田兩部隊の砲擊により四散し敵の肉彈が散亂してゐるといふ凄じさで敵ながら天晴れ死力を盡した死鬪の跡が看取される、この戰鬪により得たる戰果は特筆さるべきもので現在までに判明せる七十七師のみの損害は戰死團長(聯隊長)三、營長(大隊長)以下將校廿七で九千名の師團が僅か七百名に減じたといふ驚くべきもので殆んど全滅に近く、我方の貴き犧牲は宮脇部隊長の戰死と共に如何に戰鬪が激烈であつたかゞ窺はれよう

宇留島大尉戰死

【陳庄廿六日發國通】廿五日午後九時敵は小癪にも陳庄に夜襲し來り激戰三十分にして遺棄死體多數を殘し逃走したが、この戰鬪に於て宇留島逸馬大尉(大分縣出身)水本幸雄中尉(鹿兒島縣出身)は名譽の戰死を遂げた、宇留島大尉は常に第一線に於て奮戰殊に漢口攻略戰で赫々の殊勳を樹てた勇士である

る廿七師馮玉祥系約一ケ中隊を發見、直ちに攻擊しこれを潰走せしめた、敵遺棄死體九、捕虜一、輕機一、自動拳銃一、小銃彈三百五十を鹵獲

青木中尉重傷

【徐州廿五日發國通】澤田部隊の青木善之助中尉(德島縣出身)は廿四日早曉宿縣西南方廿粁南平鎭附近に於て名譽の重傷を受けた

松岡、大村新舊總裁
就、辭任挨拶に昨日來京

三年八ケ月滿鐵總裁としての仕事に終止符を打つて大陸を去る前總裁松岡洋右氏と新にバトンを受繼で大陸開拓に乘り出した總裁大村卓一氏は二十六日午後五時二十分着あじあで來京した、驛頭新京支社各箇所、吉鐵首腦部をはじめ在京三千社員、山崎電業副社長、宮澤前民生部次長、林滿映理事長ら滿鐵出身者、各特殊會社代表らの盛大な出迎をうけた兩氏は自動車を連ねて理事公館に入り少憩のゝち新京神社、忠靈塔に正式參拜、午後七時半より理事公館に平島支社長以下支社幹部、各箇所長らを招き晩餐會を催した
兩氏は二十七日午前九時關東軍司令部に植田軍司令官、磯谷參謀長、關東局大津總長、田中監理部長らを訪問離就任挨拶を述べ、午前十一時帝宮に參入、皇帝陛下に覲見、松岡前總裁には特に午餐を賜はり午後は國務院其他滿洲國關係機關に挨拶をなし午後四時半より新京社員會聯合會主催の西廣場俱樂部に於る歡送迎會に臨み、二十八日午後五時三十分發あじあで赴哈、三十日午前二時三十分過京奉天撫順の挨拶を終て三十一日歸連松岡前總裁のみ北支關係機關に離任挨拶の上四月六日大連出帆の吉林丸で歸國の途につく豫定である【寫眞は理事公館に入つた大村總裁(左)と松岡前總裁】

いよく お別れ
パイプの無い松岡さん

前後三十年の滿洲にお別れを告げる松岡前滿鐵總裁は二十六日新京理事公館の馴染深い應接の一室でいつも坐りつけの肘掛椅子に深々と腰を埋め相變らずの溢れる元氣と明朗な口調で「いよいよ辭めることになつたよ」と特にいよいよに力を入れ次の如く語つた いつも口にしてゐた愛用のダンヒルのパイプが見へないのが一寸淋しみを感じさせる

開拓鐵道へ邁進
謹嚴な大村新總裁

僕が廿數年來描いてゐた滿鐵の仕事も見透しがつき軌道に乘つて來たのと四圍の狀勢から考へて餘り味噌をつけないうちに辭めるのに今が最も汐時でもあるので御暇を蒙ることになつた、五ケ年の任期を完了出來なかつたのは殘念だがこれでも滿鐵總裁のうちでは中村是公さんに次ぐ長期間だ僕が總裁に就任してから岡田廣田、林、近衞、平沼と五代の總理大臣を迎へた、昔は內閣が代れば滿鐵總裁も代つたものだがこれを見ても政黨政治は凋落したと云へる、撫順のオイルシエール增產計畫、後藤總裁時代から懸案の大調査機關も實現した、廿年來懸案の社員副總裁も生れた、これで何も思ひ殘すことはない、內地へ歸れば先づ伊勢神宮、桃山御陵、嚴島神社、宇佐神宮を參拜する積りだ、それからは山の中にでも入つて何もかも忘れしばらく世の中を靜視したいと思つてゐる、僕には地位も名譽慾も何もない、政界に出やうなど今の現下の大勢を見るとき全身に寒さを感じるではないか
と話は滿洲から內地更に世界にまで及んで烈々口角をついて出る憂國の至誠は青年松岡の面目躍如たるものあり、この巨人が滿洲から去るのかと思ふと珠玉を失つたやうな一抹の淋しさを覺へしめた

松岡前總裁と新京神社、忠靈塔に參拜して理事公館に歸つた大村總裁は少憩のいとまもなく城內西三道街の自宅で逝去した昵懇な間柄の胡清氏の遺族を弔問、懇ろに哀悼を表して再び歸館、總裁として最初の記者團との會見が行はれた、副總裁時代と少しも變らぬ謹嚴そのものゝ大村さんは〃松岡さんに會つたかね〃と開口第一聲
僕は七十に近い、松岡さんとは十も違ふ老骨だよ、抱負かね……滿鐵の進むべき途ははつきり決つてゐる、今更何もないよ、松岡前總裁の偉大な抱負經綸を踏襲しこれが實現化に努力するまでだ、本社の新京移轉かそういふ話は前からあるが今直ちに移さねばならぬといふこともなく、またそう簡單に移せるものでもない鐵道交通上から見て鐵道總局は現在のところ奉天に置くことが最も適當だ、滿洲國中央機關との折衝は本社を新京に移さずとも新京支社の權限を擴大すればよい筈だ、鐵道運賃の問題については昨年十月遠距離遞減を實施した、今後も滿洲國產業五ケ年計畫に呼應協力して開拓鐵道としての使命達成に邁進する覺悟である
冗談も諧謔も交へない鐵のやうな堅い話、どこまでも謹嚴な大村式である

新總裁下に於る重役會議
四月上旬開催

大村新滿鐵總裁は松岡總裁と共に全滿各地の關係方面に挨拶、松岡總裁の離滿を大連に送つた後、四月上旬歸奉の上佐々木、佐藤兩副總裁以下全重役を奉天に招集、新總裁としての最初の重役會議を開催松岡前總裁時代の滿鐵の大方針に則つて當面の諸問題を協議、副總裁以下重役陣の擔當部門及び滿鐵の進むべき大方針を決定する筈である、なほ四月中旬には滿鐵全機關の部局課長を奉天に招集、總裁としての抱負を述べることゝなつた

滿華連絡機稅關檢査は錦州で

經濟部稅務司では錦州飛行場がダイヤの關係上滿華連絡旅客荷物の稅關檢査をなすに最も適當なので廿五日より稅關吏が飛行場に出張して檢査を行ふことゝなつた

古田前參議卅日はとで離京

前滿洲國參議府參議古田正武氏は二十五日退官挨拶に來社因に氏は來る三十日午前九時三十分發列車で離京歸朝の途に上る

人事往來

▲染谷保藏氏(盛京時報社長)廿六日夜來京ヤマトホテル

第七十四議會閉院式
昨日滯りなく終了

【東京國通】第七十四議會は朝野總親和總努力の實を擧げて廿五日をもつて全部の議事を終了したので廿六日豫定の如く貴族院において閉院式を擧行せられた、この日平沼首相をはじめ全閣僚、松平、小山、佐々木、金光兩院正副議長以下貴衆兩院議員は何れも禮裝に威儀を正して登院、定刻十一時平沼首相は恭々しく玉座に向つて最敬禮の後稻田內閣書記官の捧持せる勅語書を捧持し玆に勅命を奉じて閉院式の勅語を捧讀するの光榮を擔ひますと述べ議員最敬禮裡に優渥なる勅語を捧讀、ついで松平貴族院議長勅語書を拜受し同五分滯りなく式を終了した

閉院式勅語

【東京國通】廿六日の議會閉院式に賜りたる勅語左の如し

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等克ク朕カ意ヲ體シ協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

松平貴族院議長談

【東京國通】今議會は政府提出の豫算案、法律案等は夥しい件數に上つたが、これらが全部可決された事は今日の重大時期に當つて一入喜ばしいことゝ存ずる、かくの如き成果をあげ得たのは全く政府と議會が時勢を深く認識して共に協力した結果であつて政府と議會の間にこの理解と努力があつてこそ立憲政治の使命を全うし得ると確信し、寔に欣快に堪へない次第である

小山衆議院議長談

【東京國通】今議會は東亞新秩序建設の新事態に對處する重大議會であつた、國民は事變の終局が如何なる經過によつて成就されるかに注目の焦點を置いてゐるが、本議會を通じて帝國の動向は國民の前に明かにされ又國民の總意も本議會を通じて遺憾なく反映されたのである、かゝる議會であつたゞけに問題の中心は外交關係と戰時對應豫算を中心としたが、物動計畫その他についても詳細なる檢討が加へられた、その結果は東亞新秩序建設といふ曠古の偉業を翼賛し奉るわが國力に聊かの不安なきことが明かにされ大目的達成のために斷乎たる決意は愈々新たに確立されたといへる、たゞ內政方面においては幾何の憾みなきにしもあらずだが、これは現內閣としては組閣早々のことではあり今後內外政策革新の實は今後の手腕に俟つべきであらう

全面的內治外交の施策を具體化
聖戰最終目的達成に邁進

【東京國通】今議會は異常な好成績で廿五日終了したので政府は今後豫算の實行、法律の施行と共に議會を通じて闡明せる事變處理の具體案をはじめ內治外交の全面的施策を具體化し眞に興亞の重大使命達成の巨步を踏出すことになつた、即ち
一、生產力擴充計畫
一、物資動員計畫
一、右兩計畫の實行に伴ふ低物價政策の遂行
一、身分保證令を除く文官制度の改革
一、企畫院の整備擴充
一、總親和總努力を基調とする國民精神總動員運動の徹底
一、總動員法必要條項の發動等は可及的速かに着手の方針で、これがため適任者を得次第兼任遞信、拓務の兩相の補充を實現陣容を整備すると共に四月下旬地方長官會議を召集政府の諸政策を明示して擧國一致興亞の新事態建設に國民の協力を求め聖戰最終の目的達成に邁進する決意である

軍事同盟締結
小會派代表、首相に要請

【東京國通】衆議院の小會派議員赤松、小池(第一)、三宅(社大)、今井(第二)、三田村(東方)の諸氏は相携へて廿五日院內で平沼首相と會見し左の要請書を提示、これが實現を要望した
政府は現下の國際政局に鑑み速かに左の方策を斷行すべし
一、防共協定を發展して軍事同盟を締結すると共に聖戰目的の貫徹を阻害する英佛兩國に對しても日獨伊三國の軍事同盟を締結すること
一、右情勢に對應し國家總力を發揮するため內政各般を一新すること
右要請す

偶語

第七十四興亞議會は我が國憲政史上稀に見る平穩無事のうちに廿六日終幕を告げた▼成立法案實に八十九件、豫算總額九十四億を滯りなく審議を經たことも未曾有のことである▼これは要するに朝野を問はず時局を認識しての總親和の結實に他ならぬ▼併しながらこれからが更に大切だ、如何なる法案を備らへて見ても運用が惡ければ却つて社會に害毒を流す結果となる▼こゝに國民の更に一段の協力を痛感すると共に平沼內閣の責任の重大さがある▼郵便物誤配に對する非難は少しも衰へない▼某官廳は餘りにも甚しい警告を發すると鋭鋒あたるべからざるものがある▼だが日本人の配達夫が日本人に配達するのに誤りないのは當然であり、言語の通じない配達夫が言語の通じない人に誤つて配達するのも當然である▼最も複雜多岐なる郵便行政を何等の準備もなく一瞬に切り更へるなどスヰッチではあるまいし餘りにも常識外れの無茶といふほかはない▼郵政當局が市民に强ひる犧牲も大きいが無下に現業機關を責めるのは酷に過ぎる

伊植民地回復要求 提出に乘出すか
政府機關紙强硬說唱ふ

【ローマ廿五日發國通】イタリー政府機關紙ジヨルナーレ・デ・イタリア紙は廿四日の紙上で「政局の主要點」と題するガイダ主筆の社說を揭載したが、これはイタリー政府の植民地回復要求の提出を暗示するものとして注目されてゐる、要旨つぎの通り

□

チエコ分割問題が急速に解決を告げるであらうことは今や

明瞭 となつた、民主々義ブロックの全體主義國家包圍策は完全に失敗に歸した、ドイツは對獨包圍陣から羽ばたきして飛び出した、さうして彼等民主々義ブロックの目は今や樞軸の他端であるイタリーに向けられはじめた、そこでわれわれは政局を正確に定義づける必要がある、イタリーの求める平和は通り一遍の表面的なものでなく眞實のものである、正義の平和は現在歐洲を支配してゐない、英佛兩國の求める平和はイタリーの必要と權利を無視してゐる、早い例がイタリーの領土回復要求に對するフランスの拒否的態度の如きはこれである、問題をもつと廣く見るならば民主々義國家群は世界平和のために多少の

犧牲 を忍んでもなさねばならぬ國際正義の確立などに關してはたゞ一言も觸れようとしない、チエコ問題の次ぎにも解決を要する問題が多々控へてゐるその中最も重大なものはイタリー關係の事項である、之は遠からず英佛の迷夢を醒ますべく時局に登場するであらう

伊をあくまで支持
ゲーリング獨空相叫ぶ

【サンレモ(北イタリー)廿四日發國通】ゲーリング獨空相は廿四日ポ・ロ・デ・イタリア紙記者と會見、次の如く述べた

ドイツは如何なる場合にも亦如何なる犧牲を拂つてもイタリーの側に立つであらう、余は近くローマに赴きムツソリーニ首相にお會ひする、リビアをも訪ね、バルボ總督には是非お目にかゝりたい

獨、ス爲替淸算 調印を了す

【ベルリン廿五日發國通】スロヴアキアは去る廿三日成立したドイツ、スロヴアキア協定によつて正式にドイツの保護國となつたが、ドイツ政府はこの保護協定に基きスロヴアキア政府との間に兩國の經濟關係を規定する爲替淸算協定の調印を了した旨廿五日發表した、右淸算協定はスロヴアキアの對獨輸出增加を目的としたもので、スロヴアキアと舊チエコ領たるボヘミア、モラヴイア、ズデーテン地方との間の貿易は無關稅となつてゐる他ドイツ人顧問がスロヴアキア政府の經濟、財政機關に協力することも規定されてゐるが、關稅同盟に關しては觸れてゐない

獨洪經濟協定 近く調印

【ベルリン廿五日發國通】權威ある筋から確聞するに、ドイツ政府は目下ハンガリー政府との間に經濟協定の締結交渉を進めてゐる模樣である、交渉はすでに相當進捗し近く調印の運びとなる模樣であるが、右經濟協定は最近成立したドイツ、ルーマニア經濟協定にも匹敵する重要なものと云はれる

ハンガリー機
スロヴアキア 國境地方を爆擊

【プラーグ廿五日發國通】スロヴアキア領に進入したハンガリー軍はスロヴアキアをドイツの保護國とするドイツ、スロヴアキア協定が成立すると共にハンガリー領に撤退したと傳へられたが、國境地方の不安は未だ去らず廿四日の夜から廿五日の朝にかけてハンガリーの飛行機は二回に亙つてスロヴアキア國境地方を爆擊した、右に對しスロヴアキア外相デイルカンスキー氏は直ちにハンガリー政府に對し抗議したが、スロヴアキア政府は目下頻りに國內に於て義勇兵を募集しつゝありといはれる

國境劃定委員會
ブダペストで開催

【ブダペスト廿五日發國通】ハンガリー、スロヴアキア間の國境紛爭は未だに兩國軍相互間に小競合を續けてゐるが確聞するに兩國の國境劃定に關する混合委員會は來る廿七日ブダペストのハンガリー外務省で開かれることに決した模樣である、スロヴアキア政府は國境決定に當つては平等なる立場に立つて協議を進めるに對しハンガリー政府は自由民の多數居住する數地域をハンガリーに割讓するやう要求してゐると

佛大統領歸國

【パリ廿四日發國通】四日間の公式ロンドン訪問を終へてルブラン大統領夫妻はボンネ外相以下隨員と共に廿四日午後四時二十五分特別列車でパリ停車場に到着した、驛前にはヂヤンネ上院議長、ダラヂイエ首相以下各閣僚英國大使館員等が出迎へ北停車場からエリゼー宮に至る沿道には多數の群衆が集り熱狂的にルブラン大統領萬歲、英佛萬歲を唱へて盛んな歡迎ぶりを示した

獨、新財政計畫發表

【ベルリン廿四日發國通】ドイツ政府は急速なる國費の膨脹と國防力强化の必要上國庫支出の增大に對處すべく今回新たに劃期的財政案を樹立するに至り廿四日ラインハルト大藏次官は所謂新財政計畫を發表した、この計畫の核心をなすものは無利息公債すなはち租稅證券發行で本年五月以降從來ドイツ財政の老大要求を補塡して來た利子附赤子公債を新發行の無利子公債に置換んとするものであり、この無利息公債は來るべき國稅納入にある限度を限つて使用することを許し、又政府、

重慶市民減少せず
退去命令も效果無し

【上海廿五日發國通】重慶政府は降雨期が明けた場合再び重慶に我航空機の空襲あることを豫想し、三月上旬以來再三重慶市民の退去を命じたが甲斐なく現在なほ五十萬に上る民衆が狹隘なる街區に充滿してゐると傳へられてゐるが情報によれば過去數週間に一萬一千の市民が退去したるに對し新たに重慶に移住した者が一萬人に上つてゐると言はれ、重慶政府有力分子が退去したる以外に退去命令は殆ど效果がなかつたものと見られる、この結果重慶市及び衛戍關係當局は空襲避難所の增設に多數の勞働者を使用してこれが完成を急いでゐる

ウ元帥極東へ

【ワルソー廿四日發國通】廿四日モスクワからワルソーに到達した情報によれば、國防人民委員ウオロシロフ元帥は近く極東に赴き極東第一赤色軍團及び第二赤色軍團を檢閲した後さらにウラヂオストツクの要塞を視察する豫定で、これを機會に極東軍の大規模な演習が行はれるのではないかといはれる

中央航空研究所
四月より開所

【東京國通】興亞航空の一大飛躍を劃し學理と實際を究めて優秀國產機を製作、ひいては外國にまで輸出するといふ壯大な計畫の下に建設される中央航空研究所はいよいよ來月一日から店開きをなすとゝもに建設事務と研究を併行せしむることになり、諸般の準備を進めてゐたが、同所官制は漸く法制局の審議も濟み初代所長以下を決定して兩三日中に閣議で正式決定發令を見ることになつた、官制は所長の下に研究、建設二部と所長直屬の總務課を置き研究部には第一、第二、第三の三課を建設部には技術、營繕の二課が配備され所長と兩部長は何れも勅任、課長は奏任であるが注目すべきは從來航空官の名稱を附することになつてゐた、主任研究者が研究官といふ官名で呼ばれることになつたことである、なほ初代所長及び部長の人選については鹽野遞相はじめ小野次官、藤原航空局長官が本部航空技術系の第一人者を各方面より物色交渉中で取敢へず藤原航空局長官が所長兼任となる

上海都市建設計畫
本格的事業開始

【上海廿五日發國通】大上海都市建設計畫については昨年九月維新政府が上海都市建設區域を指定これが第一歩を踏出して以來維新政府行政院、上海市政府及び內政部所屬上海復興局が三位一體となつて着々計畫を進めつゝあつたが愈々四月を期して第一期建設地域の本年度第一次土地拂下げを斷行本格的事業に乘出すことゝなつた

而して右事業計畫については去る十五日行政院、上海市政府、上海復興局及び上海恒產會社の首腦部により構成される第一回上海都市建設諮問委員會の決定に基き上海恒產會社がこれを代行するものであつて第一期事業經營地は呉淞クリークを市の中心區とする總面積四千五百七十萬平方米、土地拂下げは先づ高級住宅地域及び呉淞工業地域から手をつけ漸次商業地域、倉庫地域、雜居地域等に及ぶ筈である

總動員聯盟
理事廿二名決定

【東京國通】政府は支那事變の新事態に對處するため東亞新秩序建設を目指して國民精神總動員運動を活潑ならしめるべく曩にその組織體制を改めて內閣に國民精神總動員委員會を設置する一方中央聯盟役員の顏觸を一新し既に有馬會長の留任、筑紫中將の理事長就任を決定したが、更に中央聯盟理事廿二名を左の如く決定廿五日發令、愈々具體的活動を開始することになつた

陸軍中將(理事長)筑紫熊七、元大藏省主稅局長靑木得三、衆議院議員加藤鯛一、貴族院議員賀屋興宣、貴族院議員男爵菊池武夫、大日本靑年團常務理事粟原美能留、日本商工會議所會頭伍堂卓雄、產業組合中央會々頭仙石興太郞、東日大每會長高石眞五郞、帝國在鄕軍人會指導部長中村馨、修養團主幹蓮沼門三、報德會理事長花田仲之助、同盟通信社常務理事古野伊之助、衆議院議員星島二郞、產業報國聯盟常務理事町田辰三郞、中央教化團體聯合會理事長松井茂、東京手形交換所幹事森廣藏、衆議院議員守屋榮夫、貴族院議員吉田茂、大日本婦人聯合會々長吉岡彌生、貴族院議員子爵岡部長景、朝日新聞主筆緒方竹虎

東亞醫科大學
青島に開設
學長は元長崎醫大の林博士

【東京國通】日支文化提携の第一歩として靑島に東亞醫科大學が開設される、設立發起人は東京醫專の創立者、現同大學竹下主事で先般來各方面を奔走した結果、平沼首相以下全閣僚・柳川興亞院總務長官、衆議院正副議長、政民兩黨領袖等の援助を得、結城日銀總裁はじめ財界各方面の資金的援助も見込みがついたので數日前同校を經營する基金二百萬圓の財團法人設置認可を見た、海軍方面ではこの企てに特別に力瘤を入れ目下海軍で使用中の靑島市蘇路にある市立病院の建物一部使用を許可したので、同建物を假校舍として五月十五日を期して開校の豫定である

同大學は四年制の專門學校とし、學長には元長崎醫科大學長林郁彥博士が就任する筈で、入學資格は中等卒業以上、來月廿三日東京、大阪、京都、福岡、京城、臺北各帝大及び現地假校舍で入學試驗を施行、第一年度は二百名乃至二百五十名を募集するが、設立趣旨に基いて同校卒業後三年間支那、滿洲、蒙疆の何れかで現地開業することになつてゐる

なほ同校は出征傷兵の子弟には學費免除の特典も與へるほか日支共學を建前とし現地各方面に呼びかけ支那人學生も收容する筈である

戰時應召者の戶籍上優遇案可決

【東京國通】衆議院軍籍關係各派議員の共同提案に係る戰時又は事變に際し應召せられたる者及びその家族を戶籍上優遇せられたきことに關する建議案は廿三日の建議委員會に上程され、小泉純也氏(民)起つてこれが提案理由の說明に當り、國民的感謝表明のためその實現を要望せるに對し倉元司法政務次官も贊意を表し、結局滿場一致これを可決した、案左の通り

政府は戶籍上新族籍(例へば勳族)を創設し戰時又は事變に際し應召せられたるもの又は軍人以外の從軍者並にその配偶者、兩親及び子女をこれに列し以て國民的感謝を表明せんことを望む

右建議す

臨時政府人事

【北京廿五日發國通】天津海關監督溫世珍氏は今回天津市長代理に就任することになつたので臨時政府は廿五日左の人事を發令した

海關監督を命ず 程錫庚
實業部次長を命ず 陸夢熊

新佛大使香港へ

【ハノイ廿五日發國通】新駐支佛大使アンリー・コスム氏は廿五日ハイフオン出帆の廣東號で香港に向つた

河村中將歸還

【福岡國通】靑史に輝く徐州包圍作戰に武動を樹てさらに北支掃蕩戰に活躍中であつた河村董中將は、廿五日午後一時半靑島より空路福岡飛行場着歸還した

教學指導員制採用
義勇隊の教育基礎確立

從來靑少年義勇隊に對する現地に於る訓練は建設々營に重點を置いたゝめに教學方面の訓練は第二義的となり些か跛行の觀があつたが、大體訓練所制度機構が整備された今日實務と教學は並行すべき時期に達し既報の如く靑年學校制も採用するに決し、これに配すべき指導員についても、新たに教學指導員を配置してこれが完璧を期すことゝなつた

即ち從來三百人を單位とする一ヶ中隊に對する指導幹部は中隊長、農事指導員、教練指導員、事務指導員各一名となつてをり、これに配するに榮養指導員、建築指導員等が訓練以外の設營の指導に當つてゐたが、智育、德育、體育の三拍子揃つた訓練の下に確固たる大陸建設精神の把握者養成の爲靑年學校を採用すると共に、既に教材に就ても關係方面において研究が進捗し一部既に脫稿を見たものもあるので、これが指導員も當然必要となり新たに教學指導員制を採用、一ヶ中隊一名配屬の豫定で現在內原に訓練中であつて、來る四月七日本年度第一回渡滿義勇隊と共に漸次渡滿することゝなつてゐる

從つて右教學指導員は本年度は義勇軍三萬に對する三百人並に本年四月より大訓練所より移行する甲乙訓練所にも配することゝなつてゐるので、四百名前後の教學指導員が來滿する譯であり名實共に訓練生に對する教學制度の基礎は略確立し、文化的に一步前進した訓練生の將來は刮目して期待すべきものがある

汪精衛の和平聲明で
敵兵前途に疑惑
支那將校手帳で告白

【吳城廿五日發國通】汪精衛の和平聲明は支那側に異常な衝動を與へたが、名もなき部落を守る支那兵達までもこの聲明の結果戰ふべきか否かを惱み苦んでゐることが吳城陷落の際わが軍の手に歸した敵兵の日記帳によつて判明した、即ち廿四日海軍陸戰隊が暴風雨を冒して吳城東方の無名部落に殘敵を掃蕩中、一兵士の遺棄死體から日記帳を發見したが、表紙には山東省生れ淮尉陳得印(廿五)所有と記され、ついで部隊員の名を列記、僅かな金錢の貸借關係等も詳しく書かれてゐるが、陣中日誌として特に赤インキをもつて左の如く記されてゐた

十一月二十日 けふもまた部下は汪精衛の和平聲明問題で騒いでゐる、あれだけ隱し拔いてあるものを何處から聞き出して來たのだらう、汪の聲明は事實かと問はれたので、自分は知らぬと答へてゐたが、もう隱してゐることは出來ない、數日銃の手入れもせず、議論しては又ボンヤリ考へこんでゐる、部下を見ても何んだか叱る氣にはなれない

十一月廿五日 到頭今日張中士と李上等兵が代表となつて汪精衛聲明問題について質問しに來た、中國の抗戰前途に何等影響はないと答へはしたが、僞の答へだけに自分ながら言葉に力がなかつた、張も李も變な顏をして出て行つたが又議論が始つてゐた

十二月三日 部下の朱兆有下士が錢上等兵と共に逃亡した、兵隊達が汪の聲明で逃げたのだと騒いでゐる

十二月卅日 もうあれから一ケ月餘りになるのに兵隊達はまだ汪問題で騒いでゐる、結局どうにもならぬ問題だが議論をしてゐる間だけでも和平が出來た氣持で慰められてゐるのかも知れぬ、何のために戰つて居るのか自分自身でも馬鹿らしくなる

一月十一日 自分も戰爭が愈々嫌になつて來た、山東省の故鄕に歸りたい氣持で一杯だ、昨日は第七小隊の兵隊が七名逃亡したと兵隊達が騒いでゐた

一月十八日 近頃は變である何かヤケ糞になつたり又自分等に反抗的態度をとつたりする、汪聲明以來兵隊達の心がグングン崩れて行くのがはつきり見える

舊二月七日 二月二十七日 月曜 癸亥 友引 成 張宿
東京・本郷・神誠館

●一白の人 歩調正しければ思ふ彼岸に達し得らるべし 壬と艮と南が吉
●二黑の人 口舌は勿論のこと取引にも爭なき樣すべし 坤と丙と庚が吉
●三碧の人 人を責めず我を張らず心大なれば自ら無事 丙と丁と壬が吉
●四綠の人 一利を得て第二の利を夢みる事なく退くべし 壬と癸と丁が吉
●五黃の人 自力本意を以て捗らぬとも焦らず進むべし 坤と巽と北が吉
●六白の人 在り來りの業には支障なきも移轉旅行は凶 巽と丙と壬が吉
●七赤の人 位高ふして驕は少し高ぶれば更に損を招く 巽と壬と癸が吉
●八白の人 平凡無爲の内に自から芽を吹き出す日なり 坤と丙と艮が吉
●九紫の人 飲食さへ愼めば餘事は大抵都合好く行くべし 乾と甲と巽か吉

婦人公論
四月號 本日發賣
定價六十錢
女性の知性と教養を高め知識女性のよき友である本誌は、今月も發賣前から多くの話題と評判を巻き起してゐます。
修道女の手記
スール・マリア・アンジェラ 三上悠紀子
雪なほ消えやらぬ北海道の、閉された神秘の園トラピスト修道院に、若き女性の生涯を神に仕へる修道女として捧げようとする女性三上悠紀子さんの斷章。神への敬虔と詩情に滿ちたこの一篇は、秘められた女性の園の生活を初めて物語る。
禮子の結婚披露に 小宮豊隆
獨身婦人に與ふる書 武者小路實篤
妻の勝利 一志摩枝
創作 女性評論 陳芸 東北帝大教授 中川善之助
客間訪問 客間の話を訊く 東京女子大學長安井哲子女史の
職場訪問 倉敷紡績工場に働く女性 帶刀貞代
學窓を巣立つ女性へ贈る五つの言葉
第一の言葉 世界を見よ 加田哲二
第二の言葉 最初の問ひ 宮本百合子
第三の言葉 夢を失ふな 河上徹太郎
第四の言葉 現實を強く 竹田菊
第五の言葉 讀書をすゝめる 神近市子
生れてから二年間の赤ちゃんの育て方 緒方安雄
小さき島にて(詩)……三好達治
新税・増税と家計 長家壽子
思ひ出の人々 私の歩いた道 三宅花圃
□源氏物語中の二三の歌について(女性文化月評) 谷川徹三
□事變の現段階の見透し(女性國際知識) 清沢洌
□大阪行その他 嶋中雄作
□海外だより 野上彌生子
□國民再組織と婦人の問題 佐藤俊子
秘められたる野口英世の初戀人 神崎清
事變下支那知識婦人と語る(座談會)
双葉山と結婚 小柴澄子
娘の相談 短篇小說 嶋中雄作
春のみづうみ 林芙美子
房州行 豊田正子
北海道の旅 富澤有爲男
私の傑作 近代音樂史話 中根宏
☆雪中行軍 竹內茂代
☆小さな誇 村岡花子
☆洋樂都々逸 二葉あき子
☆少女の日のクレヨン 入江たか子
隱居部屋から 竹內芳衛
□美容第一課 ジュン・牛山
★カラーセクション
就職第一日 永井好子 笠井太
闘病實記 療養も又戰なり 私の結核闘病記
去りゆく村娘 東京文理大教授 野尻重雄
成長した「小さきもの」 叔父の独語 有島三兄弟 里見弴
長篇小說 花のない季節 丹羽文雄
特輯 人間の復活 島木健作 ・ 青苔 野上彌生子
籍田 武田麟太郎 ・ 美しき世界
悲しき許婚 許婚の悲劇
□婚約時代の道德…奥むめお
□婚約の新しい意義…阿部靜枝
白衣の待機…佐野そのゑ
吹雪の夜の決意…丸岡秀爾
青空の煙哀しも…伊藤澄子
小さな聲…歷山十馬
増刷は不可能。賣切れぬうちお早くお求め下さい

東京商大専門部教授 村瀨玄序　商學士 樋口午郎著

商店簿記講話

中小商店待望の實用簿記書出づ（標準規格A列五番）◆正價九拾五錢◆◇送料六錢◇

商店簿記は、過去の經營成績を明かにして、將來の方針を立てる上に、唯一の資料を提供するもので、經營を合理化し、多忙の日常を送る本書は主として中小商店經營に不可缺である。然し仕入に販賣に會計に、本書は店主に來るべき帳簿記帳の方法を簡易なもので實行出來ぬ。難解で不在方の改革を加へ、簡なれば到底の新帳簿記入の結果が二つに分かれ行く……（以下判讀困難）

——好評嘖々——

東京商工會議所編　商業經營指導講座　全八冊

全部完成特價提供

支那事變勃發以來皇軍の武威支那全土を壓し赫々たる戰果を收めてゐるが、東洋平和確立の爲長期戰時體制は一段と強化せられ、銃後國民は出征將士と相呼應して協力一致此の目的達成の爲には如何なる難難をも克服する覺悟を要する。この重大時局下に於て、我が中小商業は配給統制、消費節約等に依り其の經營に影響する所甚大であつて、最早過去の經營では其の維持すらも至難である。

政府に於ては小賣商業振興對策として夙に商業組合法の實施し、商工組合中央金庫を創設し或は百貨店法を制定し、庶民金庫も開設せられ、金融に便じ資金の調達を容易ならしめた。又商店經營指導機關として、全國主要都市に商工相談所を續々設立し、小賣商業の更生振興に當つて居るが、業者は此等の施設機關を利用すると共に自ら時局を正しく認識し經濟の動向を察し國策に副ふ所の合理化經營を目指して皇軍將士の奮闘と同樣經營の改善に努力し以て更正振興を期すべきである。序ノ一節

東京商工會議所

本講座は・日本東京兩會議所共同主催の第三次商業經營指導員養成講座に於ける講話を更に各講師の嚴密なる校閲を經て編纂せるもの

講師は斯界の第一人者――商店經營の虎の卷

中小商業の經營者・店員諸兄の必讀書

商業學校上級生の副教科書に最適

全八冊函入特價參圓八拾錢（送料內地二十二錢 滿鮮臺樺六十二錢）分買自由

巻	題目	著者	價格
（I）	商業組合組織と經營・商店街の構成	安田元七・石川榮耀	特價五拾錢（送料六錢）
（II）	中小產業金融制度・商店の金融方法	工藤昭四郎・井關孝雄	特價五拾錢（送料六錢）
（III）	商品管理・科學的商店經營法・團体的商店經營法	上野陽一・伊藤重治郎・福冨恒樹	特價五拾錢（送料六錢）
（IIII）	經營統計	栗屋義純	特價五拾錢（送料六錢）
（V）	商店必須法規・店員給與及福利施設	大室亮一・井上貞藏	特價五拾錢（送料六錢）
（VI）	販賣及仕入方法	田中要人	特價五拾錢（送料六錢）
（VII）	外交販賣術・廣告宣傳方法	清水正巳・野元伊太郎	特價四拾錢（送料三錢）
（VIII）	店舖設計及陳列・照明知識	川喜田煉七郎・關重廣	價四拾錢（送料三錢）

會計

日本會計學會編纂

第四拾四巻 第三號　三月號　正價五拾錢 郵税二錢

- ○物價委員會と原價委員會……黑澤清
- ○現實的勘定理論の構成……佐藤孝一
- ○戰時及準戰時利潤の分析……山下勝治
- ○莫大小業の收支計算……有本邦造
- ○個人所得の广告に就て……舘田義
- ○量的市場分析方法の考察……西野嘉一郎
- ○銀行會計に於ける前取貸出利子……品田誠平
- ○銀行會計の諸用紙の樣式規格統一……北村榮次
- ○帳簿組織立案者の意圖……山野井房一郎
- ○簡易なる記帳方法……森敬
- ▲新刊紹介　▲最近會計文獻　▲會計餘錄
- ▲計理士登錄　▲地方別計理士數一覽表　▲編輯後記

一冊 定價五拾錢 郵税貳錢　一ケ年前金（郵税共）金五圓七拾錢　半ケ年前金（郵税共）金參圓

發兌 東京神田小川町ビル　森山書店　振替東京三二九一九番　電話神田三〇八〇番

3—HO

滋强飲料 カルピス

① お台所にいつも一本カルピスあれば

② 不意のお客が何人さまでも　冷水で七倍に溶くだけで……

③ ウマイウマイカルピスが　即座に出來る便利さです

點滿養榮に上な利便

乳酸カルシウム　ヴイタミン　蛋白アミノ酸　葡萄糖等の榮養素を含む

誰にも好かれるこの旨さ

（登錄商標）

若殿膝栗毛

（禁上演 上映）　中川雨之助　竹越一郎畫

怪い人影（三百二）

『アッさう〳〵』思ひ出した。大江軍平――

『エ、大江軍平……名前からしてスッカ〃敵役になつてるぢやないか』

香島は、ドキンと、胸を叩かれた。こんな、岡崎あたりにまで、もう彼を召捕の配符が廻つて居るやうでは、自分が危機一髪を脱したあとで、軍平もまた、さわ師の茂兵衛の處を逃げ出したに違ひない。

その軍平は今何處に居る、兄の英之助は何處に居る、そして長七郎様は……

折角厚化粧をした顏を、香島は思はず涙で汚してしまつた。

『こゝ廻ります』

チョン〳〵。

狂言方が柝を鳴らして、開幕の近づいたことを知らせて來た。

香島は又た慌てゝ顏を仕にかゝつた。

座長の部屋の、切支丹の噺は、どうやら立ち消えになつてしまつたやうだつた。

蓆の隙から、冬の夕暮が、冷たく忍び寄つて來た。

さうして、やがて芝居が打出しになつた。

閉場の太鼓のドンドコ鳴り畢つたのは、四刻少し過ぎた頃であつた。

それから座員一同が、樂屋風呂で溫まつて、雜用宿から運んで來た夕飯を食べて、どうやらかうやら、自分の體のやうな氣持になつたのは、それから一刻の後、子の刻に近かつた。

座員の中の若い男たちは連立つて小屋を出て行つた。夜中過ぎから何處へ遊びに行くのだらう……。酒であつた、女であつた。それが奴等の、樂みであり、そして唯一の慰安であつた。

後に殘つた座員の一團は、ほの暗い灯の下に集まつて、コソコソと何か行り出した。ものを言ふのにだつて、大きな聲一つするのでなかつた、そして男も女も、夢中になつて爭つた。

それは博奕を打つのであつた。斯した旋廻りの藝人の中には、三度の飯より勝負事の好きな者があつた。『博奕がやれるから、それを樂しみに生きて居るのだ』といふやうなヒドイ奴も居た。

スッカリ着物まで負てしまつて襦袢の上から蒲團をかぶつて居ながら、それでも丁だ半だと、眼を光らせる男もあつた。

彼等は、次第に夜の更けて行くことも、寒さの加はつて來ることも、明日睡いことも忘れ果てゝ、淺ましい利慾の餓鬼道に墮ちてゐた。

いつの間にやら、丑刻も過ぎてしまつた。

小屋番の打ち鳴らす拍子木の音も、もう聞えなくなつてしまつた。

いつか風になつて、おまけに嚴しい眞夜中の冷込みであつた。霜氣を含んだ風が、蓆の隙から、スーッと、針のやうな鋭さで吹き込んで來た。

香島は衣裳屋のお婆さんと二人抱き合ふやうにして薄ぶとんに包まりながら、衣裳葛籠の蔭で寢て居つた。

すると、何時の間に、何處から這入つて來たのか、花道の揚幕からスーッと魔物のやうに、眞ッ暗な土間に現はれた人影があつた。

それが、足音を忍ばせて、ソロリソロリと、舞台へ上つて、そこに立てかけてある書割の張ポテの影にかくれて、ソッと覗いた。▼

學校は增加するが先生が足らない

開拓地敎員養成學校設立か

當局對策に頭惱ます

各開拓地に於ける小學校は開拓民の增加とともに逐年增加し、既に卅九校を算してゐるが、更に本年四月以降明春迄に八十校の建設が豫定されてゐるが、之に對する敎員は明年迄には新に二百名を要し、更に將來の學級增加を見越しては更に莫大な敎員を必要とするにも拘らず目下の日本の狀態から補充が果して永續的に可能なりや否やは疑はしく一面敎育問題は一日も忽せにするを得ざるものであるだけに各關係機關において目下對策研究を續けてゐる、然してこれが對策として一部には滿洲國內に開拓地敎員養成のための學校を設置し、廣く天下に大陸を愛する人材を求めると共に靑少年義勇隊員中の有資格者をも入學せしめんとの計畫が進められつゝある模樣である、尙既設の三十九校中在外指定學校として學校組合において管理してゐるものは現在迄僅かに一校であつたが本年四月一日附を以て十五校を在外指定學校とし、更に明年三月迄には殘り全部を指定學校とする豫定である

兒童慰問文に前線兵士が感謝

銃後々援會のヒット

新京銃後々援會では出征前線兵士と銃後國民、特に各家庭兒童等の聯絡を密接ならしめるため兒童慰問文、慰問品等を贈り勇士を激勵してゐるが第一線勇士よりもこれ等銃後國民の熱誠こもる支援に對し感謝の手紙が續々新京銃後々援會宛屆けられてゐるが、小學生の慰問文には特に感激しこの程左の如き感謝文が關屋會長宛屆けられた(原文のまゝ)

毎度色々と御配慮下され誠に感謝に堪へません、殊に今度は小學生の慰問文を御送附下され各自の盡心なのには本當にありがたく思ひます、僕等兵隊も矢張り子供等と同樣な精神です、これでこそ日本の兵隊は强いのではないかと思ひます、小生等は小學生からの御便りが何より嬉しく思ひます銃後國民の一致團結、これでこそ長期戰に堪へるのであります、吾々は滅私奉公の精神をもつて一意專心軍務に勉勵致す覺悟であります、氣候變調の折皆々樣御體大切に、御禮傍々御通知迄

濟南にて　渡邊生

第一回斷郊競走

陸上競技のトップを切る第一回斷郊競走は廿六日午後一時半より牡丹公園を中心として行はれた、結果次の如し

△四千米(少年)1王作智(第一國高)一一分二六秒、2河紹文(第一國高)一二分二四秒、3王賀文(第一國高)一二分三〇秒、4李洲(文化)一二分三〇秒5范林(文化)、6王鴻發(文化)、7梅田(新商)8淺野(新商)、9藤崎(新商)

△八千米(靑年)1方景河(專賣署)二二分四八秒、2洪永鎮(新商)二二分五四秒、3朴景錫(工學院)二三分四四秒八、4金仁煥(經濟部)二四分一七秒三、5吉鳳仁(交通會社)、6崔德富(文化)、7曹瑞(文化)、8李春華(工學院)

蘭州空襲戰に散つた井關少佐の手記

至高精神の權化!

【〇〇基地廿六日發國通】空襲部隊の戰士達は文字通り空の決死隊である、脚の車輪が **基地** の土を離れた瞬間から喉に白刄を擬せられたも同樣、況して敵地深く踏み入つて亂れ飛ぶ敵機を相手に壯絕な空中戰を展開する編隊群を指揮する部隊長の苦心は計り知れぬものがあるのだ、地上整備の苦心、僚機への心遣ひ、そして身を挺して戰ふ戰鬪精神、待機中といはず戰鬪中といはず身を喰ひ心をさいなむ部隊長は常に人間として至高の精神を要求されてゐる、去る二月廿二日蘭州上空に巨大な火花となつて散つた井關正夫少佐(當時大尉)は此至難の任務を實に超人的な內省と努力によつて完成した部隊長の一人であつた、やせた小さな身體、溫厚な謙遜な性格のなかに火のやうな意思を持ち續け、しかも出征以來酒も煙草も嗜しなまず、聖僧のやうな生活を續けつゝ全支にわたる壯絕な爆擊を敢行した少佐は基地に殘した陣中日記のなかに人間井關としてまた部隊長としての慘憺たる苦しみを書き殘してゐる、一讀神を想はせるこの手記はさらに戰鬪に當つての作戰、その他についても貴重なる研究の跡を示してをり、航空部隊としても重要な **資料** となつてゐるが、こゝには少佐に代つて部隊を率ゐる大浦部隊長の許可を得た一部を抄出することゝする

二月八日(水曜)曇　家庭の戰鬪詳報來る、英夫(長男)健康勝れざる由將來の日本を背負つて起つべきこの幼き日本男子、そして陛下の赤子、又余の愛兒たる英夫の健康增進に關し留守司令官に命ずるところあり

二月十日(金曜)曇風強し　終日室にあり、彼此交々考ふれば身の置き所なきが如し、戰場にあつてはじめて自己の如何に足らざるかを知る、死生の境の直前に際しこの世に對する執着を捨つる能はず、これ平素における修養の足らざるによるなり、苟くも將校たらんものその部下の前に立つ以前において古武士のいはゆる禪的修養を必要とするを痛感する、二ケ年間の部隊長生活を顧み流汗禁ずる能はざるなり、己れの實行不可能なるをこれを部下に要求し己れの良心に對し公明ならざることを部下に實行せしむる等今にして想へば罪人たるを免れ得ざるなり、形の上は兎も角形以下においては余は一大僞善者たりしなり

二月十六日　曇

一、生に對する執着心　余は忌憚なき心をいひたい、余は遂に生に對し無關心になり得なかつた、しかし飛行機に乘つてしまへば何にも考へない、たゞこれを達成しようといふ念だけである

二、出發前の一蹉跌といへども氣にかゝるものである、搭乘區分も決して變更しないやうにする、自己の言動も平素と何等變らないやうに努める、今から爆擊に行くといはずに今から爆擊に行つて來ると云ふ、直前に小言を云ふときに限つていけない、直前に飛行機の不具合のないやうに注意することは好ましくない

三、一回空中戰鬪を交へると敵戰鬪機に對しては何等恐怖の念を生じないが、地上火器特に高射砲火に對しては最後まで心配である況んや自己の直前に炸裂するものに對して特に然りである

四、斯る一大任務を達成したとき人はその凡てを自己のみの手柄であるかの如く吹聽してその前後を忘れてこれに陶醉してしまふものがある、平時におけるよりも更に其度が猛烈なやうに思はれる、心すべき事である

二月十八日(土)　最小限で生活しなければならぬ、何も要らぬ筈である、それが質素であり、率先垂範であると思ふ、贅澤を云ひ出したら際限ないものである

二月二十日(日)晴　部隊は蘭州市街を爆擊し、同地上空において壯烈なる空中戰を交へ多數敵彈を受けながらも全機歸還した、武運祝すべきである、余は健康を害し室中尉に空中部隊を指揮せしめたのである

二月廿一日(月)　快晴　凡そ蘭州と俺は相容れないものであるかも知れぬ、十一月のときは事故のため、今度は健康を害したゝめ共に行けない、人生長し、細く長く御奉公することも奉公の一つの途である

二月廿二日(火)曇　けふは起き上つた、無理に飯を喰つた、これ以上寢てゐることはどうしても俺の正義觀といふか、奉公觀といふかそれが許さぬ、飛行場まで行つてみた、少し頭痛するが氣の持ちやうだ、もう斷じて寢ない、そして旺盛なる士氣を以て貫ぬかねばならぬ、部下を携げて敵地に入り込んで行くことが俺の本分ではないか、一度でもそれが出來なければそれだけ不忠ではないか、氣力でやり通すんだ、生氣の發するところ何事かならんやである

陣中日記はこゝで終つてゐる、明る廿三日少佐は病軀に鞭つて第三次蘭州空爆に馳せ參じた、白晝の猛爆を見事に果して歸途、蘭州南方上空で數十機の敵と火花散る白兵戰が始つた、一機又一機、沈着な少佐は次ぎ〳〵に敵機を射落した、其時突然井關機は機關から火を吐き猛火に包まれた儘のけぞつて一回轉機首を逆樣にして矢のやうに敵陣に突入してしまつた、僚機にあつてこれをみてゐた河島部隊長が思はず「しまつた」と叫んだ程悲壯なる瞬間の自爆であつた、殘された部隊の將士は今は還らぬ部隊長の想出を共に綴り陸空軍史にその神のやうな人格、火のやうな **鬪志** を留むべく記念印刷物を作りつゝある、井關正夫少佐は福岡縣出身、初江未亡人は少佐が最後まで自分が後繼者として其の病軀を案じてゐた英夫君以下三人の遺兒と共に健氣にも永遠の留守を護つてゐる

產業衞生協會 滿洲地方會發會式

滿洲における工業勞働者の保健、衞生、能率其他の勞働科學を研究調査する日本產業衞生協會滿洲地方會發會式並に第一回總會は廿六日午前十時から滿洲醫大第五講堂で開催、輝峻理事長をはじめ千草理事會員、來賓多數參集、會則の制定、役員詮衡が行はれた後成立宣言をなし、ついで左の如き研究調査報告ならびに討議を行つた

△演題

「立業と扁平足との關係に關する考察」滿洲醫大　北村博士

「炭礦工人の榮養改善に就て」撫順炭礦保健主任　安孫子博士

「未定」鐵道研究所　柴山安太郎

「勞働者の將來」加藤貞

「奉天製作所スプレー作業の衞生學的調査」

「工場における電氣性眼疾の防止施設に就て」德局保健課長　田中文侑

撫順醫院　藤森博士

遭難時間判明

中華航空會社旅客機の遭難時刻については種々推測されてゐたが、廿五日夕刻死體となり收容された高橋操縱士その他の所持せる時計が何れも九時五十分を指して止つてゐるところから遭難時刻は廿三日午前九時五十分と推定確認された(上から)起重機到着、潛水作業開始、機體引揚げられる、無慘に破壞された機體

柔道 產業部 劍道 首警優勝

官廳對抗武道大會終る

總務廳主催官廳對抗武道大會は在京各官廳團體二十餘組を集め、二十六日午前十時より大經路小學校において會長星野總務長官をはじめ皆川協和會總務部長、關屋副市長其他多數の來賓を迎へて盛大に擧行された、定刻一同整列昨年の優勝團體(劍道)治安部(柔道)首都警察廳の優勝旗返還式並に開會式を行ひ直ちに團體一回戰に入り途中上垣、石井兩敎士の大日本帝國劍道型中島、山岡兩五段の講道館古式型、總務廳後藤周助氏の見事な居合試切りを行ひ再び試合を續け團體では產業部(柔道)並に首都警察廳(劍道)が優勝、個人では經濟部甲斐(劍道)產業部廣田(柔道)の兩君が拔群の成績で優勝、終つて優勝旗、優勝刀の授與式を行ひ午後四時終了した

三晩の歡樂代八百數十圓に候

カフエー全勝の豪華版?

この非常時に食ふも食つたり飮むも飮んだり飮食代八百數十圓と言ふさすがの業者も啞然とした遊興豪華版が國都ネオン街に惹起、春の巷に時ならぬセンセーションを捲き起してゐる、場所は日本橋通り二四ノ三藤山ハナ子さん經營の〃カフエー全勝〃話題の客は日本橋通り商店主村川某〃假名〃である、經緯はかうだ四、五日前ネオンに誘れて村川氏はカフエー全勝にブラリと入つた、彼を魅するに充分なものがあつたか、ともあれ飮めや唄へと有頂天に遊び戲れ次いで次の夜も、次の夜もと三回も通つた、では勘定となつて差し出された金額が八百數十圓と言ふのである、全く歡樂の後の悲哀と言ふか莫大な計算書を突きつけられた村川氏は『いくらなんでもそんなのないわ』と靑くなつて中央通署保安係に計算書を持出したのである

三回とは言へカフエーでの遊興八百數十圓とは全く未聞の豪華ぶり、係官も舌を卷いたが、裁きは後でと計算書は机の抽斗にそつとしまはれた、これを耳にした新京カフエー組合では時局の線に沿つて自肅自戒を標榜、明朗カフエー建設に全員一致歩調を合せてゐる折柄、業界を冒瀆する行爲だと憤激、營業主に對し何等かの處置をと强硬態度を以て臨まんとしてをり、早くも幹部は寄々協議を續けてゐる模樣である、さて當局は、また組合側はこの結末をどうつけやうとするのか頗る注目されてゐる、尙この店の姉妹店であるダイヤ街ブランタンは昨年末客に一回百十數圓を遊興させ結局當局に持出され、大目玉を喰つた上請求書の三割引を以て解決したと言ふ因緣もある

畑の藁が火事

二十六日午後六時半頃寬城子警察署裏側に當る畑に積んである同署管內范家屯居住張某所有の藁から發火、消防署が出動消火に努めたが水の便惡く約二時間半燃え續けて藁約三萬斤(約六百圓)を燒失して午後九時頃鎭火した、原因取調中なるも煙草の火でないかと見られてゐる

〃防犯協會〃設立

愈よ卅日打合會開催

民警協力一致して犯罪を掃滅し明朗國都の建設を圖らうと首都警察廳司法科では民警打つて一丸とする防犯協會の設立につきかねて計畫しつゝあつた事は旣報の如くであるが愈よ諸般の準備なつたので來る三十日午後一時より設立打合せ會を本廳に於て開催することゝなつた、尙本打合せ會は本協會が先づ管下取締業者を會員として組織される關係上これ等業界の代表者出席の下に協議、その結果可及的速かに華々しく發會式擧行の筈である

靑年學校卒業式

新京靑年學校男子部では第四回卒業式を廿五日午後七時から室町小學校講堂で擧行したが、授賞者は左の如くである

學校組合長賞(腕時計)伊藤岩男、敎育奬勵會賞小川依義、三宅定和、中島洲平植村敬次、澁田見富雄、學校長賞鶴田一四、後援會長賞林吉之助、市岡正己、昵田邦雄

軍用鳩協會總會

新京軍用鳩協會總會は會長依田少將、治安部井崎上校以下各役員及び會員五十餘名出席の下に廿六日午後一時から弘報會館會議室で開催、前年度事業報告、役員改選、新事務所設置、飼料配給、本年度新事業案等を議題に協議を遂げ終つて井崎上校、日下部滿鐵鳩育成主任の講演があり同二時頃散會した、なほ同會新事務所は中央通弘報會館內に置くことゝなつた

寄進

新京商工公會久松庄左衛門氏は二十五日誕生日に當り平和の鐘樓建設費に金一封を寄進した

ペン

最近春に浮かれる大虎、小虎の橫行が深夜の巷に目立つて來たのを契機として當局のネオン街取締りは一段嚴重となり、ついに營業時間は十二時に締切り一時までに客を歸すやうにと嚴命、以來每夜臨檢のものものしい光景である▼水商賣と言ふ稼業の弱さをしみ〴〵知る業者はこれを嚴守してゐるが、時にこれを破らうとして無理難題を吹きかけ業者いぢめの醉漢もしば〳〵見受ける▼かうした醉漢の多くは官吏を笠に着る者である『民衆を指導すべき官吏さんが…もう少しなんとか』業者は可細くさゝやいてゐる、聲が大きくならないうちにと官吏の自重を望む聲が巷に高いのである

天氣

けふの天氣　北の風晴

きのふの氣溫　最高五度四　最低零下八度六

けふの番組

［M・T・C・Y 新京放送局］ 廿七日(月曜日)

朝

七、〇〇(大連)ラヂオ體操・入港船のお知らせ
七、二五(大連)初等滿洲語講座 秋父固太郎
七、二〇ニュース
七、五〇(大連)朝の音樂(レコード)
宮內樂 フッシュ至內管絃樂團
ブランテンブルグ協奏曲第五番ニ長調 バッハ作曲
第一樂章 アレグロ
第二樂章 アフェテュオッソ
第三樂章 アレグロ
八、二〇 氣象通報
八、五〇 建國體操
九、〇〇(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
一〇、〇〇(哈爾濱)家庭講座 春休み中に於ける兒童への注意 村上德治

晝

一〇、二五 料理獻立
一一、三五 家庭メモ
一一、四〇(大・新)經濟市況
一一、三五(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報
〇、〇一(大連)
〇、三〇(東・新)ニュース
畫の演藝 漫談 相撲漫談 西村小樂天
一、〇〇(大・新)經濟市況
三、〇〇(大・新)經濟市況
三、二〇(東京)經濟市況
四、〇〇(東京)ニュース
四、二〇 氣象通報・ニュース
四、四〇(大・新)經濟市況
五、二〇 ニュース「鮮語」
ラヂオドラマ「鮮語」 新京文化部演劇班 演出 李台雨

夜

祭祀
六、〇〇(※※)子供の時間 童謠と唱歌 京城女子師範附屬小學校兒童
獨唱 金烨子 梁純玉
伴奏 京城放送管絃樂團 編曲指揮 梁駟披
一、齊唱 春風
二、齊唱 牧場の朝
三、齊唱 ハタハタバンザイ
四、齊唱 犬
五、獨唱 星の子
六、獨唱 人形
七、齊唱 小學生進行曲
八、齊唱 戰爭手毬唄
九、齊唱 兵隊さんありがたう
十、獨唱 子守唄
六、二〇(東京)コドモの新聞 關屋五十二
六、二五(哈爾濱)趣味講演 奄美大島の民謠を語る 松葉博吉
唄と蛇皮線 里隼人
七、〇〇(東京)ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇(東京)國民歌謠
獨唱 長門美保 永田絃次郎
伴奏 東京放送管絃樂團 指揮 池讓
一、白百合 西條八十作詞 大中寅二作曲(長門)
二、朝 島崎藤村作詞 小田進吾作曲(永田)
七、四〇(東京)講演 今議會を通過した重要法案 法制局參事官 磯貝三
八、〇〇(東京)歌劇 カルメン ビゼー作曲 伊庭孝譯詞 堀內敬三補修
第二幕 リリアス・パスティアの酒場
出演 藤原義江歌劇團
配役(發聲順)
カルメン 由利あけみ
フラスキータ 河原喜久惠
メルセデス 小森智慧子
エスカミリオ 下八川圭祐
ドン・ホセ 藤原義江
闘牛士 密輸入者たち ヴオカールフオア合唱團
管絃樂 中央交響樂團
合唱指揮 內田榮一
管絃樂指揮 篠原正雄
演出 堀內敬三
八、四〇 小唄 昭和十三年度演藝放送新人募集當選者
唄 北村篤三
三味線 竹千代
替手 虎龍
(イ)三千歳 (ロ)堤になびく (ハ)屋台ばやし (ニ)八重一重
八、五〇(東京)舞臺劇 戀女房染分手綱 重の井子別れの場
補乳人重の井 中村梅玉
本田彌惣左衛門 市川權十郎
由留木息女調姫 坂東光伸
奥女中若菜 市川瀧之丞
自然薯の三吉實は與作の一子與之助 市川男女丸
その他近習腰元大ぜい
淨瑠璃 竹本鏡太夫
三味線 鶴澤市作
囃子 柏伊三郎社中
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解說
氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇 今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間
アナウンサー 渡邊(朝)上森池谷(晝)田中、荒井(夜)

新人演藝放送 小唄四つ 【後八・四〇】

北村篤三さんは田村小初師の門下で、最初に清元を清元延榮秀師又は清元一壽郎師に就き後小唄を田村小清師に教授を受け、渡滿後は田村小初師に、昭和十三年度の新人演藝募集に小唄で當選された方です【寫眞は北村篤三氏】

唄 北村篤三
三味線 竹千代
替手 虎龍

三千歳

よい夢を入谷田甫の畔道をつゝむ人目のほゝかむり、誰白鷺と思ひしに、逢へば互になつかしく、えとうも、丁度當り年「丑やい達者でゐろよ」

堤になびく

つゝみになびく青柳のむすんでとけし縁の糸、ひきとめられて見返りの思はせぶりなすて言葉、えゝ、さうぢやいな實ほんにえ

屋台ばやし

屋台ばやしのうちこみはまづ神樂ばやし、聖天鎌倉おへましよりでん、あとは四丁目でてんすてゝん、すとゝんどんおひやりひやりとろ、ひやとろ笛の聲、ささむぢやあとむぢや、ともにうちこむ、ちえん、ちえちえちゝ、あたり鉦

八重一重

八重一重、山もおぼろにうすげ化粧、むすめざかりは、よい櫻花風にちらで、ホさんに逢って生中あと、くやむ、はづかしいではないかいな